

- ① 地方都市における駅舎等の利便性向上に伴うにぎわい創出について
- ② 地方都市と札幌を結ぶ特急列車の利用促進について
- ③ 鉄道利用者への利便性向上に向けた企業努力について



建設委員会

2019年10月3日



- ① 河川防災の取組
 - ◆ 水位情報の提供について
 - ◆ 水位計の設置数について
 - ◆ 水位計の欠測状況について
- ② 道営住宅における北海道胆振東部地震被災者への対応
 - ◆ 震災発生時の対応について
 - ◆ 今後の対応について

建設委員会

2019年11月6日

- ① 観光に資する道路整備について
 - ◆ 広域観光を支援する道道の整備について
- ② 阿寒公園鶴居線の整備について

質問

急カーブが続く幅員が狭い砂利道となっている。観光客が安全かつ快適に観光地に向かうルートとして整備を進めるべき。

答弁(土木局長)

利用者の安全な通行を確保するため平成29年度より簡易舗装の整備を進めており、引き続き早期完成に努めていく。



Action report アクション レポート

田中ひでき

2020年 春号

2019年12月 第4回定例会での一般質問



- ① 知事の政治姿勢について
- ② IRについて
- ③ 本道経済の活性化について
 - ◆ 自動車産業の集積について
 - ◆ 令和2年からの観光客の誘致について
 - ◆ 中小、小規模企業の事業継承について
 - ◆ 雇用創出について
- ④ 空港の一括民間委託について
- ⑤ JR問題について
- ⑥ 地域医療等について
 - ◆ 地域医療構想について
 - ◆ SCUについて
 - ◆ アレルギー疾患医療拠点病院について
- ⑦ 民族共生象徴空間(ウポポイ)について
- ⑧ 東京オリンピックについて
- ⑨ 幌延深地層研究センターについて
- ⑩ 私立高校生への修学支援について

質問

本道における重要な公共交通機関であるJRの経営安定化については、早急に一定の道筋を付けなければならないものと考えます。

今後、道はこの「基本的な考え方」に基づき、年度内に国への提言をまとめる方針であると承知しておりますが、知事は、国に対し、一体何をどのように求めて行こうとしているのか、今後のJR支援について、知事の所見を伺います。

答弁(鈴木知事)

国に求める事項といたしましては、安全投資等に対する安定的・継続的な支援の実施や青函トンネルの維持管理コスト等に対する支援の充実、観光立国といった国家戦略的な観点からの本道の実情などを踏まえた新たな支援スキームの構築などについてお示しをしているところであります。

年度内に取りまとめる国への提言に向けましては、今後、さらに、道議会の皆様をはじめ、市町村や地域関係者の方々と意見交換を重ねるとともに、地域の取り組み状況の発信や四国各県との連携を図り、法改正に向けた機運を醸成しながら、私が先頭に立って、オール北海道で取り組んでまいります。



道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルwebサイト 制作/株新生



北海道・道東のために全力で働きます。

水道事業の 予算確保に向けて

東京



2019年7月31日

北海道議会・水道事業維持・向上協議会として東京へ中央要請に来ました。耐用年数をはるかに超えた施設の更新、また耐震化など、暮らしにとって欠かすことのできない水道事業へ十分な予算が確保されるよう厚生労働省および国土交通省へ要請活動を行ってきました。

計画的な施設整備のためには毎年、安定した予算が必要です。

昨年の北海道を襲った北海道胆振東部地震によって発生したブラックアウト。あの時、停電によりポンプが作動せず断水になった地域も多くありました。あらためて水の大切さを感じた地震でした。人が生きるために必要な予算は、しっかりと確保されなければなりません。



産炭エネ委員会調査

石狩



2019年8月27日

石狩新港にある北ガスのLNG基地は、北海道で唯一の大型LNG輸入基地です。都市ガスの原料となるLNGをサハリンやオーストラリアなどから輸入・貯蔵し都市ガスを製造しています。

北海道で消費される天然ガスのほとんどが石狩LNG基地から出荷されています。

巨大な貯蔵タンクは1号機が18万KL、2号機は20万KL、さらに3号機、そして4号機も建設中とのこと。1号機の18万KLは、一般家庭40万の1年間の使用量に相当します。

内航船という専用タンカーで函館や釧路にも出荷されています。基地内には78000kwの発電所も設備されています。その熱を都市ガス製造用熱源に利用するなどエネルギー利用の効率化を図っています。北海道の一大エネルギー拠点として、これからも発展してもらいたいと考えます。



北海道7空港の一括民間委託

札幌



2019年8月13日

北海道の7空港一括民間委託の運営企業に選ばれた北海道空港を中心とした北海道エアポート様より、今回の民間委託における事業概要について説明をお聞きし、意見交換をさせていただきました。

7つの空港は、新千歳空港・稚内空港・釧路空港・函館空港・旭川空港・帯広空港・女満別空港です。7空港の現在路線60を142路線にしていくこと。デジタルマーケティングを活用した誘客。北海道全体の地域活性化への貢献など。

釧路空港などの道東からも国際線を飛ばしていくという戦略です。釧路・帯広・女満別からは特に東アジアの首都と結んでいく、または道内オープンジョーによる広域観光の促進なども考えられています。

デジタルマーケティングによる観光流動づくりで、2次交通の充実も期待されます。インバウンドの方が自国でスマホを使って交通を全て確保するなど安心できるシステムの構築など大いに期待されることです。広大な北海道なので、鉄道なども含めた総合的な交通を充実させて北海道の発展につなげていきたいと考えます。



エゾシカを取り巻く課題

斜里



2019年9月12日

斜里町にあるエゾシカファームにて調査。北海道HACCP認証のこの施設では、エゾシカの衛生的な処理を行なっています。認証外の施設がある中で、このような認証施設で適正に処理が行われている施設で、様々な課題を知ることができました。

地元の斜里町・木村議員とともに事業者から伺った課題について。そもそも商品として活用できる鹿肉は、1頭から20~25%ほどしか使えないということでした。エゾシカは植生被害などに加えて農業被害、都心部にも出没するなど、駆除や有効活用など、その適正管理が求められています。そのエゾシカが減少することで事業の見通しが立たなくなること。

さらに認証がない業者が不衛生な状態でエゾシカを処理することでの環境問題に加えて、きちんと設備投資をせず加工し安価で販売するため適正価格が維持されない。品質も落ちるため結果としてジビエが広がっていかない。認証施設となるために多くの設備投資を行っている事業者は成り立たなくなる。

いずれエゾシカが適正頭数になってくると必要な頭数をどう確保するか。現行の法律では、牛や豚のように人工的に増やすことは出来ないとのこと。現場に行かなければ、わからない現状の課題を知ることができました。



道外調査(四国)

香川



2019年11月19日

地方路線問題調査特別委員会の視察調査で岡山県に入りました。朝から特急あさかぜに乗って、瀬戸大橋を渡る予定でしたが、線路点検のため連休となってしまいました。やむなくバスに切り替えて瀬戸大橋へ。

瀬戸大橋は上が自動車道、下が鉄道になっています。この瀬戸大橋の最上地点へ！海面から175メートルの高さは、圧巻の景色です。その後、高知県に入り、高知県議会の皆さまと意見交換。その後、バスで2時間半かけて徳島県徳島市に入りました。

実は、JR四国において唯一採算が取れているのが、この瀬戸大橋を走る路線だけとのこと。それ以外の四国における路線は全て赤字路線。北海道と同じく経営安定基金の運用益が目減りしている中で非常に厳しい経営が続いています。

北海道と四国では、その面積や鉄道の距離、置かれている自然環境、人口密度など違いが多くありますが、国鉄民営化の基本スキームが今や完全に機能していないことによって厳しい経営を強いられている点では共通しています。

これから行われる法改正は、総合的な交通体系を考えながらも、人口減少社会を見据え、特に北海道にとっては貨物など物流の重要性もしっかりと取り入れた内容でなければなりません。国策として地方路線を守ることが強く望みます。



令和元年 決算特別委員会

2019年11月8日~21日

総合政策部

- 地域づくりについて
- ・ 地域づくり総合交付金について



保健福祉部

- 児童相談体制の充実について
- 人口内耳装用に係る負担軽減について

質問

人工内耳を装用するための手術は大変高額と聞いておりますし、その手術や調整などのメンテナンスを行える医療機関は釧路や根室地域にはなく、札幌市や旭川市の医療機関まで通院しなければならず、交通費などは保護者にとって大きな負担となっておりますが、負担軽減に向け道ではどのように取り組んでいるのか伺います。

答弁(障がい者支援担当局長)

第5期北海道障がい福祉計画に基づき、視聴障がいに関するセミナーや療育機関等への研修の開催などを通じまして、相談支援の充実や早期療育支援体制の整備を進めるなど、聴覚に障がいのあるお子さんやそのご家族の方々が、身近な地域において、適切な支援が受けられる体制の確保に努めて参ります。

- アレルギー疾患対策について
- ・ アレルギー疾患医療拠点病院の選定について

総務部

- 防災対策について
- ・ 大規模停電対策について
- ・ 胆振東部地震に伴う通信状況について
- ・ 退職自衛官の活用について
- ・ 北海道防災総合訓練について

環境生活部

- エゾシカ対策について
- タンチョウの保護対策について
- 道立スポーツ施設について

- 〔 道立総合体育センター「きたえる」 道立北見体育センター 〕

今後の整備などについて

北方領土返還運動

東京



2019年12月2日

毎年12月1日は東京にて北方領土返還要求中央アピール行動が行われています。この時期は、道議会の会期と重なるため、土日では参加できません。今年は1日が日曜日ということで、阿知良道議、中野渡道議とともに参加しました！

戦後74年、未だ故郷の島に自由に行き来できない状況が続いている北方領土問題。なんとしても前進させるためにも返還運動へこれからも可能な限り積極的に参加したいと思います。

集会では、冒頭、根室市の石垣市長が集会の背景と大意を述べられていました。領土問題は北方領土隣接地域だけでなく日本の問題であり、それを日本の首都・東京で訴える集会・行進です。

